

# 穂いもち伝染源としてのいもち病菌胞子の有効飛散距離の検討

福島県農業試験場 病理昆虫部  
平成16年度農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

水稲－水稲－病害虫防除  
分類コード 01－01－23000000

## 2 担当者

山田真孝・根本文宏・松木伸浩

## 3 要 旨

- (1) 伝染源(葉いもち病斑)から飛散する胞子が、穂いもち伝染源として働く範囲を検討した。
- (2) 伝染源からの距離( $x$ )と面積あたり穂いもち発病穂数( $y$ )の関係は、葉いもちの伝染勾配を表わす kiyosawa-shiomi式( $y=ae^{bx}$ 、 $e$ は自然対数の底、 $a$ 、 $b$ は定数)に適合した。
- (3) 2001年の気象条件下では、葉いもち病斑上から飛散する大部分の胞子が、穂いもち伝染源として拡散する範囲は狭く、広くても葉いもち病斑を中心にその周囲40～50m程度と考えられた。

## 4 その他の資料等

なし